

1 「信州型健康ゼロエネ住宅」推進指針策定と今後の進め方について

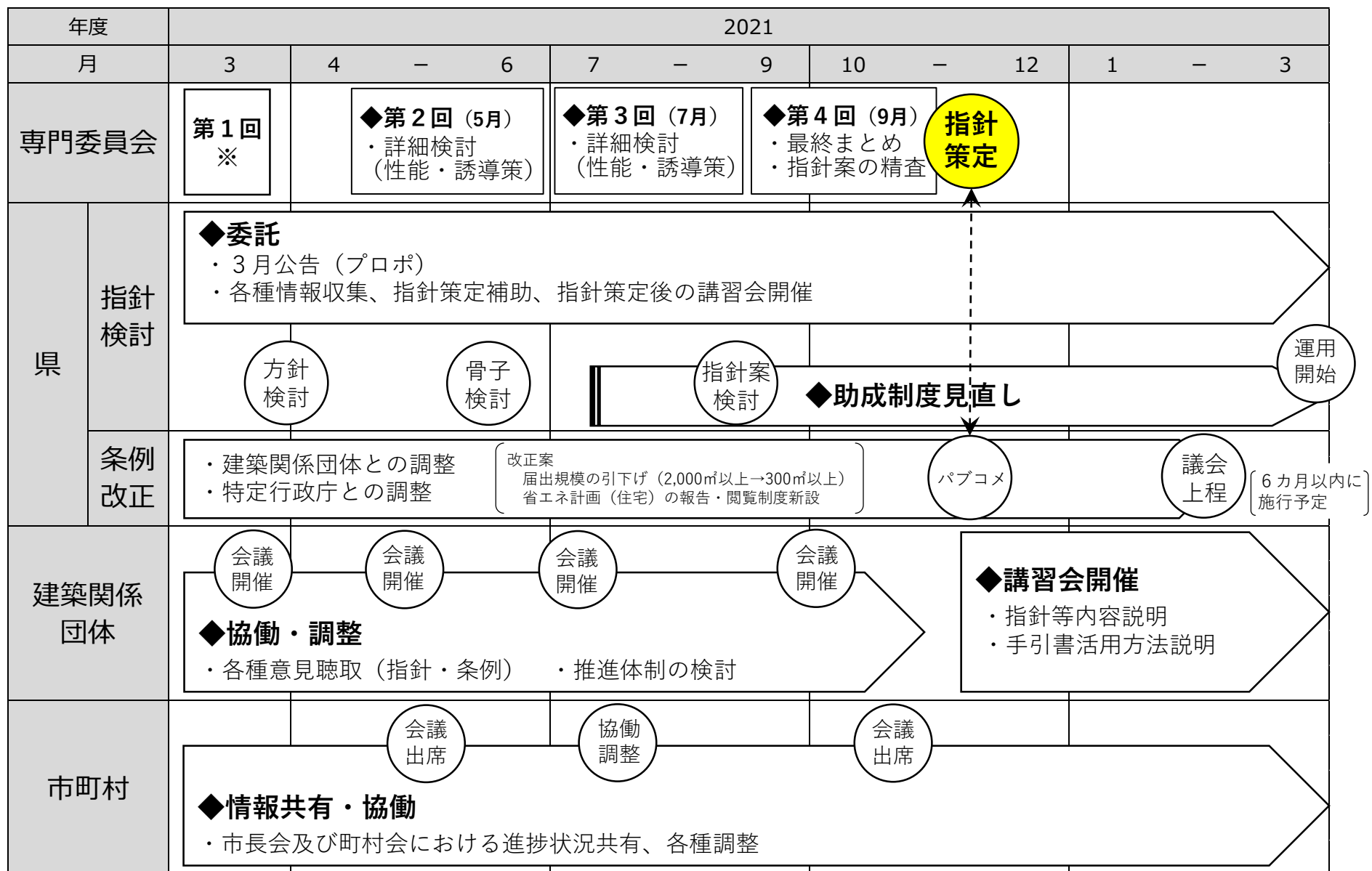
1 住宅審議会専門委員会 委員名簿（案）

| 氏名 | 職業 | 専門分野等 | 所属団体等 | 拠点 |
|---------------|--------------------------|-------------|-----------------------------------|----|
| 新井 優 | 新井建築工房 + 設計同人 NEXT 代表 | 設計 | JIA長野県クラブ、長野県建築士会、 長野県建築士事務所協会 | 南信 |
| 大蔵 実 | 大蔵建設株式会社 代表取締役 | 住宅施工 | 長野県優良住宅協会 | 南信 |
| 川島宏一郎 | 川島宏一郎建築設計事務所 代表 | 設計 | 長野県建築士事務所協会、 長野県建築士会 | 中信 |
| 古後 理栄 | 株式会社CREEKS 代表取締役 | 審議会 (設計) | 長野県住宅審議会委員 | 北信 |
| 高寺 匠 | 高寺工務店 代表 | 住宅施工 | 長野県工務店協会 | 東信 |
| 高村 秀紀 | 信州大学工学部教授 | 建築環境 | 学識 | |
| 中山 りか | 株式会社総合建設西沢商会 | 設計 住宅施工 | 長野県建築士会、 信州木造住宅協会 | 北信 |
| アドバイザー | | | | |
| 竹内 昌義 | 東北芸術工科大学教授 | 設計 | 長野県環境審議会地球温暖化 専門委員会アドバイザー | |

オブザーバー: 必要に応じて出席等を依頼

(敬称略・五十音順)

2 スケジュール (案)



※ 第1回：住宅像、課題及び対応策の方向性を共有

2 『信州型健康ゼロエネ住宅』推進指針の検討に向けた論点

1 現状と課題

- 国の省エネ基準レベルの断熱性能の住宅では2050ゼロカーボンの実現は難しい
- ゼロカーボンの実現のための高い断熱性能等の基準が不明確 [省エネ基準で満足]
- 地域工務店の技術力・営業力 [省エネ計算、施工方法、コスト等]
- 建築主の高断熱住宅・創エネ設置等への初期投資に対する理解と選択 [ゼロカーボン、快適、健康、コスト増 等]

高い断熱性能によるエネルギー削減と、快適で健康的な住宅の普及が必要

地域工務店の技術力向上、供給体制の確立

県民への気づき、選択の動機付け

2 指針策定において専門委員会で検討いただく事項（案）

➤ 信州型住宅の基準・建築手法の提示

- 基準・仕様の提示
 - ・目標基準の設定（断熱性能、気密性能）
 - ・断熱仕様の提示
 - ・建築設備の提示（高効率設備、創エネルギー設備）
 - ・国ルールにおける課題と県独自の解決策の検討
 - ・地域性の反映（広い県土、多様な気候風土）
 - ・既存住宅の断熱改修手法の提示
- 設計・施工の方法
 - ・周辺環境を考慮した建築計画（パッシブデザイン※1）

➤ 県民の動機付け

- ゼロエネ住宅のメリットの「見える化」
 - ・トータルコストによる収支（ランニングコスト削減による）
 - ・快適性、健康増進への寄与
- 工務店の説明ツールとしての手引書・概要パンフ
- 助成制度のあり方
- その他
 - 条例等による推進方策
 - 関係団体・業界との協力推進体制
 - 技術の普及・施工の確実性、技術者の育成に関すること
 - 伝統技能の活用（建具、畳、左官壁 等）

※1 パッシブデザイン：日射・通風等の自然エネルギーを最大限活用する建築手法

3 『信州型健康ゼロエネ住宅』が目指す性能基準（案）

- 委員及び建築関係団体の意見を受け、基準を設定
- 新築住宅における正味ゼロエネルギーを基本に、『コストバランス』と『快適で健康的』な住まいの性能を設定

① 外皮性能（断熱性能）

【基準】

【ハーフシック】ゼロエネルギー達成に向けて最低限確保すべき性能

- 参考基準 Z E H

【スタンダード】環境負荷の軽減と快適性を高次元で達成する性能

- 参考基準 Z E H+, G 2

【トップラナー】業界を先導する先駆的性能

- 参考基準 G 3、パッシブハウス

| (参考基準) | 地域区分・U _A 値 ^{※2} | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| | 2 | 3 | 4 | 5 |
| HEAT20 _{※3} G 3 | 0.20 | | 0.23 | |
| HEAT20 _{※3} G 2 | 0.28 | | 0.34 | |
| Z E H+ (更なる外皮強化) | 0.30 | 0.40 | | |
| HEAT20 _{※3} G 1 | 0.34 | 0.38 | 0.46 | 0.48 |
| Z E H (外皮強化) | 0.40 | 0.50 | 0.60 | |
| 現行 省エネ基準 | 0.46 | 0.56 | 0.75 | 0.87 |

※2 U_A値(W/m²・K):建物内部から外部への熱量の逃げやすさ(値が小さいほど、熱が逃げにくい)

※3 HEAT20:一般社団法人 20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会

② 高効率設備の設置

【基準】エネルギー消費量の一定割合削減

- 参考基準 20%削減 (Z E H基準)
- 対象範囲 暖房、冷房、換気、給湯、照明
- バイオマスエネルギーについて県独自の取扱い検討

③ 創エネルギー設備の設置

【基準】正味ゼロエネルギーを達成する発電量等設置

- 地域性を考慮 (多雪地域の低減基準)
- 中期的な投資計画を許容 (資金面から新築時に対応出来ない場合は、設置計画を策定のうえ、太陽光設備の後付けが可能な構造とする)

④ その他

- 県産材の活用
 - ・使用量基準の再設定を検討 (基本、推奨)
- 設計の工夫
 - ・日射、通風、気候変動(酷暑)、地域性、住まい方
- レジリエンス性の確保 蓄電池、ハザードエリア回避
- 建築手法提示 (断熱仕様、施工上の留意点 等)

1 事業の目的

住宅分野における2050ゼロカーボン実現に向け、国の省エネ基準を超える高い断熱性能を有し、信州の恵まれた自然環境を活かした、快適で健康的な『信州らしい住まいづくり』を、地域の工務店と協働で推進する。

2 事業内容

1) (新) 『信州らしい住まいづくり』を普及促進するための指針策定

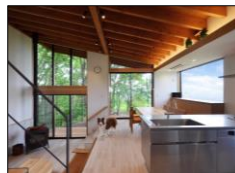
- 施工者が、信州らしいゼロエネルギー住宅を無理なく施工でき、分かりやすい建築手法を策定
(検討事項：断熱性能等の基準・仕様、県産材活用、施工の留意点、自然エネ導入、伝統技能活用等)
- 施工者の技術力向上のための講習会の開催



優れた断熱性能
四季を通して快適で健康的な住まい



恵まれた森林資源
木の温もりの住まい
木質バイオマスの活用



恵まれた自然
五感で感じる
住み心地の良い住まい



恵まれた日照
エネルギー自給で
家計にやさしい住まい

2) (新) 『信州健康エコ住宅』の新築への助成

- 国の省エネ基準を上回る高い断熱性能等を有し、県産木材を活用した新築住宅に対して助成
《助成額》50～**100万円** 《予定件数》R3受付 80件、R3設定債務 70件 **計 150件**

| | 基準 | 助成額 |
|----------------|---|----------------------------|
| 基本要件 (主なもの) | ○外皮性能※ (U _A 値) 4地域：0.6以下 (W/m ² ・K) ○エネルギー消費量 2割以上削減 ○県産木材を使用 0.12m ³ /m ² (6割相当) | 50万円 |
| 加算要件 | ①更なる外皮性能強化※ (U _A 値) 4地域：0.4以下 (W/m ² ・K) ②自然エネルギーの導入 ③県産木材を使用 0.16m ³ /m ² (8割相当) | ① 30万円 ② 10万円 ③ 10万円 |

※省エネ地域区分による (県内2地域から5地域)

U_A値 値が小さいほど熱が逃げにくい [参考：4地域省エネ基準 0.75 (W/m²・K)]

3) 環境配慮型住宅への助成

○ 新築タイプ

- ・省エネルギー基準に適合し、県産木材を活用した新築住宅へ助成
《助成額》30～80万円
《予定件数》R3受付 60件、R2設定債務 50件、R3設定債務 0件 計 110件
- ・要件 (主なもの)
 - ・基本要件：省エネ基準適合、県産木材 6割
 - ・加算要件：県産木材 8割、自然エネ導入、若手大工、子育て、移住 等

○ リフォームタイプ

- ・省エネルギー化リフォーム工事費の一部を助成
《助成額》最大50万円 (対象工事費の1/5)
《予定件数》R3受付 207件、R2設定債務 15件、R3設定債務 12件 計 234件
- ・要件 (主なもの)
 - ・基本要件：『浴室及び脱衣室』又は『寝室』の断熱性能向上
 - ・加算要件：断熱改修、自然エネ導入、家庭用蓄電池設置、県産木材、等

R3年度策定の指針に基づき見直し、信州健康エコ住宅へ統合予定